

KoALA の活用について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年4月24日）

2018年度に京都大学はオンライン講義サイト「KoALA」を開設していますが、どうしてこの機会にこちらを使わず、そもそも多対一の講義形式を想定して開発されたものでもなければ、多くの脆弱性が指摘されており既にトラブルも何件も起きている「Zoom」に拘り続けるのでしょうか？

そもそも KoALA の存在自体学生には広く認知されているとは到底言えない状況ですが、大学当局にこのサイトを活用する意思はもう無いのでしょうか？

【回答】（回答日：2020年5月18日）

（高等教育研究開発推進センター）

KoALA の利用についてポジティブな意見を頂き、ありがとうございました。

COVID-19 への対応において、京都大学のオンライン授業に関する全学的支援を情報環境機構と高等教育研究開発推進センターが連携して行っています。

高等教育研究開発推進センターでは、学内向けの KoALA のほか、MOOC やオープンコースウェア（OCW）等のオンライン講義・教材の開発や学内外への普及・展開に取り組んでいます。しかし、KoALA や MOOC においては、個々の講義を制作するために講義ビデオの撮影・編集、課題の作成等に数ヶ月程度を要しており、短期間で多数のオンライン授業の制作は困難な状況です。このことから、全学の授業を対象とした今回の COVID-19 への対応については、現有の制作スタッフのリソースを、京都大学の LMS である PandA を中心とした全学のオンライン授業化に向けた支援に充てています。

本来、KoALA や MOOC を利用して事前に十分なオンライン授業の準備が整えられていることが理想的だとは思いますが、今回京大の多くの対面授業が急遽オンライン授業で行われるという事態になり、突貫的に PandA と Zoom 等を中心的に利用するという対応になっています。

KoALA に関しては、当面、新規授業の開発を中断していますが、既存の提供可能なオンライン授業については、一部内容を改善・更新しながら学内の授業での活用を中心に提供を継続しています。KoALA の活用については、京都大学の将来構想の重点戦略として挙げられており、今後も本学からの対外的な教育コンテンツの発信や学内的な展開を推進していく予定です。